

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成31年～平成35年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	(れいほくによど) 嶺北仁淀森林計画区 (高知県)	事業実施主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署
事業の概要・目的	<p>本計画区は、西は吉野川の源流部、東は南小川上流部の徳島県境までの高知県北部に位置し、区域面積191千haで森林はその86%の164千ha、人工林率は68%となっている。年平均気温は12.9℃、平均年間降水量が2,612mmと林木の生育に適した気候下にある。</p> <p>本計画区の国有林野は、森林面積の17%にあたる27千haで、吉野川の源流部、瀬戸川、汗見川、南小川等の上流部、仁淀川の支流に広く分布している。</p> <p>その林種別面積は、人工林14,940ha(56%)、天然林10,360ha(39%)、その他1,332ha(5%)となっている。また、国有林野95%が水源かん養保安林等の保安林に指定され、水源涵養等の森林の有する公益的機能の発揮が期待されている。</p> <p>人工林は、その61%をヒノキが占め、齢級構成は、7齢級以下が27%、8～10齢級が32%、11～14齢級が35%と、間伐対象となる8齢級以上が全体の6割を越えており、適切な森林整備が必要となっている。</p> <p>天然林は、筒上山、瓶ヶ森、白髪山、寒風山等周辺にまとまって分布しており、これらの天然林は地域を代表する多種多様な林相からなり、自然美の景観としても優れているものが多く、石鎚国立公園をはじめ、四国カルスト、中津溪谷、安居溪谷、梶ヶ森、白髪山、工石山陳ヶ森及び奥物部の各県立自然公園に指定されている。</p> <p>本計画区は、人工林が多い地区であり、国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮や地球温暖化防止、木材の安定供給が期待されていることから、間伐等、適切な森林施業を推進するとともに、その基盤となる路網の整備を推進する。また、その結果、得られる木材について、持続的かつ計画的な供給に努める。</p> <p>なお、具体的取組事項としては、これまでの評価結果等を踏まえ、列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた効率的な作業システム等による間伐の実施を推進する。また、コンテナ苗等を活用し伐採から造林までを一体的に行う一貫作業システム等による主伐・再造林に取り組み、その実施に際しては、自然条件や社会的条件を考慮して実施箇所を設定するとともに、造林コストや花粉の少ない森林への転換、ニホンジカ等による鳥獣被害等に配慮しつつ、公益的機能の持続的な発揮と森林資源の循環利用の観点から確実な更新を実施する。</p> <p>さらに、計画、設計、施工の各段階において森林生態系との調和を図ることに留意しながら、林道と森林作業道等との適切な組合せによる路網の計画的な整備を推進し、その際、特に自然・社会的条件の良い森林において重点的な整備を推進する。</p> <p>主な事業内容 森林整備 更新面積 443ha 保育面積 4,582ha 路網整備 開設延長 6.57km 改良延長 17.50km 総事業費 2,917,155千円 (税抜き2,701,069千円)</p>		
費用便益分析	<p>総便益(B) 6,439,924千円</p> <p>総費用(C) 3,470,352千円</p> <p>分析結果(B/C) 1.86</p>		
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>公益的機能の発揮と木材安定供給のために、計画的な森林整備とシカ被害対策が求められている地域であり、必要性、効率性、有効性など評価の観点から、妥当なものとなっている。</p>		
評価結果	<p>・必要性 適切な森林整備をすることにより、国土保全、水源涵養及び</p>		

保健休養等の公益的機能の発揮や地球温暖化防止、木材の安定供給が期待されていることから事業の必要性が認められる。

・ 効率性 本事業の実施にあたっては、列状間伐や高性能林業機械を組み合わせるなど、従来の施業方法を見直し、生産性の向上に努めるとともに、下刈の回数削減等、保育事業の低コスト化を進めるとともに、現地に応じた最も効果的な工種・工法を採用することとしており、費用便益分析の結果から、事業の効率性が認められる。

・ 有効性 シカの生息数の増加に伴い、適切なシカ被害防止対策を講じるなど、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備であるとともに、国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、森林の有する多面的機能を十分発揮させる有効な事業であると認められる。

新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：高知県

施行箇所：嶺北仁淀森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	1,424,669	
	流域貯水便益	611,599	
	水質浄化便益	1,273,722	
山地保全便益	土砂流出防止便益	996,124	
環境保全便益	炭素固定便益	487,303	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	270,804	
	木材利用増進便益	1,647	
	木材生産確保・増進便益	540,210	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	12,717	
	森林整備促進便益	821,129	
総 便 益 (B)		6,439,924	
総 費 用 (C)		3,470,352	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{6,439,924}{3,470,352} = 1.86$		

# 嶺北仁淀森林計画区の概要図(高知県)

